

報道関係者各位  
ニュースリリース

## 「自治体・公共 Week2026 地域防災 EXPO」に出展

### —ソーラー&バッテリー一体型の簡易型クラウド遠隔監視カメラなどを紹介—

古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、代表取締役社長執行役員:古野幸男、以下 当社)は、2026年5月13日(水)~5月15日(金)に東京ビッグサイトで開催される「自治体・公共 Week2026 地域防災 EXPO」に出展します。本展において当社は、夜間や暗所でもフラッシュ無しで撮影可能なソーラー&バッテリー一体型の簡易型クラウド遠隔監視カメラ「FWC」を紹介しします。また、「FWC」の追加機能として現在研究開発中の「水位 AI アラート機能」も併せて展示します。



### FWC 簡易型クラウド 遠隔監視カメラ

国土交通省  
簡易型河川監視カメラシステム技術仕様に準拠

#### ■簡易型クラウド遠隔監視カメラ「FWC」について

FWC は国土交通省の簡易型河川監視カメラ仕様に準拠した、夜間撮影可能なソーラー&バッテリー一体型の遠隔監視カメラです。電源や通信環境の整備が難しい現場でも設置可能で、災害対応やインフラ監視など幅広い用途に対応する製品です。

##### ①超低電力

省電力設計により、小型ソーラーパネルと内蔵バッテリーのみで動作。雨天・曇天時でも、5分間隔の撮影で7日間以上の連続稼働が可能です。

##### ②超高感度

最低被写体照度 0.02lux の高感度性能により暗所でもフラッシュや補助照明なしで鮮明な画像撮影が可能です。

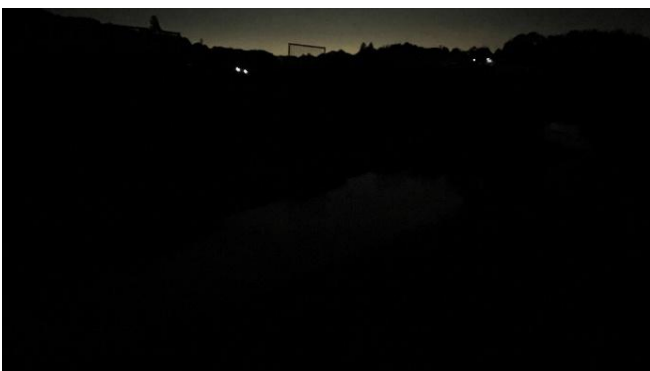
##### ③かんたん設置

約3kgと軽量で、街路灯や単管パイプなどにも設置可能です。配線不要で短工期・低コストの導入が可能です。

##### ④広域ネットワーク

LTE 通信によるクラウドを使った遠隔監視に対応。PC やスマートフォンから専用閲覧サイトで画像確認が可能で、平常時との比較やマスク機能、タイムラプス機能も搭載しています。

#### カメラ撮影画像比較(同所・同時刻:夜21時頃に撮影)

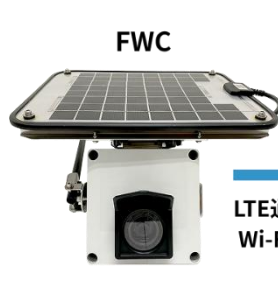


一般的なカメラ(露光・フラッシュ無し)



FWC(夜間・暗い場所でもフラッシュ無しで撮影可能)

## 「FWC」の特性を活用したユースケース



カメラ画角を上下・左右方向に調整でき、ソーラーパネルの角度調整も行えるため、即日設置・運用が可能

LTE 通信によるクラウドを使用した遠隔監視

※ IEEE 標準規格 802.11ah(Wi-Fi HaLow™)は、920MHz 帯の周波数を利用する通信手段のひとつで、特に IoT の通信システムとして様々な分野で活用が期待される新しい種類の Wi-Fi 規格です。

### ■水位 AI アラート機能について【参考出展】

FWC で撮影した画像から河川を画像解析し、アラートラインを超えた場合、メールでアラート通知する機能です。これまで河川監視カメラモニター前に張り付いて監視していた業務を自動化することで、自治体職員様の省力化・業務効率化が期待できる機能です。アラートラインは任意で設定することができるため、カメラの設置位置に左右されず、設定が可能で、加えて細かく、自由に閾値を設定できるため、状況に応じたアクションが可能となります。



## 【展示会概要】

名称:「自治体・公共 Week2026 地域防災 EXPO」  
会期:2026年5月13日(水)～5月15日(金)10:00-17:00  
会場:東京ビッグサイト(東京国際展示場)西1・2ホール  
当社ブース番号:G13-27  
公式サイト:<https://www.publicweek.jp/ja-jp.html>

## 【出展内容】

・簡易型クラウド遠隔監視カメラ「FWC」  
<https://www.furuno.com/special/jp/fwc/>  
・水位 AI アラート機能【参考出展】

## 【本件に関するお問合せ先】

システム機器事業部 事業企画部 事業企画課(担当:内形) TEL:0798-33-7517

以上